

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・性別、年齢を問わない評価体制、管理体制が整備されている ・障害者を積極的に採用している					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・研修の実施、相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8								16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・長時間労働は正のため、毎日の労働時間と残業時間を集計して削減に努めている ・【予定】『社員の子育て応援宣言』に登録する											8.5 8.8								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者は現在在職していないが、当社社員と同等の待遇をしている				4.4							8.7 8.8	10.2 10.3							
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会を設置し、定期的に巡回パトロールを行っている								3				8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するため、ストレスチェックを実施している(前年度回収率100%) ・産業医と連携し、メンタルヘルスの向上に取り組んでいる								3											
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・切粉処理など、障害者が活躍できる環境を整備している ・女性従業員を積極的に採用し、エンパワメントに取り組んでいる ・新工場の設立にあたりバリアフリー化を推進している					5.1 5.5						8.5	10.2 10.3							
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修(図面講習会・計測機器講習会)体系を整備し実施している (管理職研修、長野県南信工科大の学費全額補助)				4	5.5						8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備や対応をしている ・【予定】全ての従業員を正規社員として雇う					5.5						8.5	10.2 10.3							
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・日帰り人間ドックの受診を希望する社員(35歳以上)に費用の半額を補助している ・感染症予防のため、全社員にマスクを支給している ・インフルエンザの予防接種を会社が全額負担している								3				8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・産業廃棄物に関するmanifestを掲げ、適正に廃棄処理している												11.6	12.4		14.1				
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・監視システムで需要電力量を常時把握している										7.3					13				
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・【予定】建設中の新工場に、風力を利用した冷房設備や二重構造の屋根を設置するなど、温暖化対策を構想している											7.2 7.3					12.4	13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・禁止されている物質は代替品に変更する取り組みを行っている							3.9			6.3					11.6	12.4			
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・RoHS指令、REACH規制への対応を行っている ・材用等をMSDS(製品安全データシート)で管理を行っている						6.6												15	
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・洗浄液や金属切粉のリサイクル、切削油やトレーのリユースを行っている ・全ての社員がゴミの分別に努めている																12.5	14.1		
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】建設中の新工場に自動センサー機能付水栓を導入し、節水に努める						6.4 6.6													

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001を取得している(2005年度) ・月に一度、内部監査を実施している			3.9			6	7					12	13.3	14	15						
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針をHPで公開し、都度、更新している												12.6									
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】太陽光発電蓄電池を設置して100V機材の電力を賄う							7.2						13								
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・スクラップ資源として利用可能なアルミ材や黄銅材を主材料として継続的に扱っている ・鋳物、銅、アルミ、切削油を再利用している													12.2	13	14	15					
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む事項を就業規則に明記し、社内浸透を図っている																		16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・すべての取引先が平等且つwin-winになるような関係の構築を目指している																				16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・製品の加工方法・加工プログラムを知的財産として保護するよう努めている									8.2	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している																				16	
26		【紛争鋳物】 ・紛争鋳物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している ・出荷時に材料成績表を添付している ・原材料のMSDSから紛争鋳物の未使用を確認したうえで、取得・管理を行っている																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先と対話する機会を定期的に設け、意見交換や意思統一の確認活動を行っている					5				8		10		12	13	14	15	16	17			
28	製品・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・製品保証の観点から材料成績表を提示している ・ISO9001・14001に基づいたマネジメントシステムを構築している			3.9										12.4								
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001を取得している(2001年度) ・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを年間目標として構築している										9											
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・材料の確認、製品製造時におけるライフサイクルでの環境影響の把握を行い、取引先へ提案している						6							12	13	14	15					
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・人工呼吸器など、省力化・省人化に使用される部品を製造し、社会の労働環境改善に付与している		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域の高校やハローワークと連携し、地域出身者を積極的に採用している					4					9		11	12		14	15		17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の防災活動に参加し、出勤する社員は有給扱いとしている 【予定】建設中の新工場を指定避難所とする 【予定】県の「消防団協力事業所表示制度」に加入する ・地域や高校の各種イベントへの協賛・寄付を積極的に行っている					4							11			14	15		17			
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・建設中の新工場に地域の工事業者を利用している ・HP上での観光アピールや、取引先への地域特産品アピールを行っている										8	9		11	12	13						
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、年初と初期に、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している										8	9								17		
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・掲示板等でコンプライアンスの重要性を社員に向けて発信している ・法規制の洗い出しや遵守を随時実施している																			16		
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者(担当役員)、CSR管理者を任命している																				16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、とくに相互利益を守っている ・東証一部上場企業の連結会社として毎月の経営分析を怠りなく行っている																				16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を講じるよう、現在、BCPにおいて策定中である																					16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備している ・ISO14001の要求事項に基づき、各部門別に目標を設定し、実施している																					16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施する(2020年10月完成予定) ・【予定】レジリエンス認証を取得する												9		11		13	13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる ・サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、検討を進めている											8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)